

# WASEDA ~ MECHANICAL ~ ENGINEERING

第32号  
OCT. 2009

Newsletter

2009年(平成21年)10月1日発行

## 2009年度 機友会総会の報告

5月16日（土）機友会総会を西早稲田キャンパス（地下鉄開通により大久保キャンパスより改称）理工学部55号館大会議室で開催しました。

会長挨拶のあと青葉副会長の司会のもと、議事進行がなされました。荻須理事による『2008年度事業報告』『2008年度決算報告』の個々の内容の説明がありました。収入の部ではOB会費が予算を下回りましたが、学生会費の伸びと何より大口のサポート費などのお陰で当初予算を超えることが出来ました。一方、支出の部では極力経費削減に努め、対前年でみると個々の項目

での増減はあるもののほぼ2008年度並みに押さえました。報告に続いて小澤監事より監査報告がありました。この時会場からの質問で、資料にミスプリントがあることが分かり、これを修正して決算はご承認いただきました（末尾の注を参照して下さい）。

『2009年度事業計画（案）』『2009年度予算（案）』では活動項目は基本的に2008年度並ですが、更なる機友会の活動を期待して若干予算を増やしております。これら2案とも承認されました。

決算報告を次のページに示します。

ここで石岡副会長の閉会の辞がなされ、その他の行事に移りました。

まずは『機友会特別賞・奨励論文賞・栄誉賞』の授与及び受賞者の発表が宮下教授の進行でなされ、引き続き受賞者による内容説明がありました。特別賞は『早稲田NHKロボコンプロジェクト 準優勝』田中智也君。論文賞は『量産技術の模索』谷川雄介君『小型機のための対地衝突防止装置についての提案』次田大佑君。栄誉賞は『全国大学ラグビー選手権連続優勝』の瀧澤直君でした。

次いで『理工学部の近況報告』が川田教授よりあり、早稲田大学理工学術



総会会場風景

## CONTENTS

2009年度 機友会総会の報告	1~2
オリエンテーション	3
研究ニュース	4~5
新任教員のご挨拶	5
機友会トピックス	6
サポート費	6
イベントのお知らせ	7
理工学部100周年記念事業へのご協力御礼	7
会費納入の注意点	8
ホームカミングデーのお知らせ	8
会員訃報	8

院の中の3学部・基幹理工学部・創造理工学部・先進理工学部との係わり合いなどが報告されました。

総会恒例の講演は『機械科の歴史と機友会』の題目で田島清瀬名誉教授より、歴代の機械科に携わって頂いた先生方のエピソードや、機友会発足当時の会に対する思い入れ等のお話しがあり、興味深く又考えさせられる講演でした。

懇親会は56号館地下の生協のカフェテリアで80余名集まり、浅川教授司会のもと盛大に賑やかなひと時を過ごし、小澤監事の音頭で校歌斉唱がなされ閉会となりました。

理工学部へのアクセスが格段に良くなつた今日、総会はもとよりそれ以外でも早稲田で集まる機会を増やされたらと願っております。(文責 伊藤)



左側より、宮下教授、杉島会長、田中智也君、谷川雄介君、次田大佑君

注) 今回、会計監査の段階では、収支その他間違いは無かったのですが、資料作成時にミスが発生し、是に気付かずには資料を配布してしまいました。皆様にご迷惑をおかけして申し訳ございません。

惑をお掛けして申しわけありませんでした。(会計担当理事より)

2008年度 決算報告

収入の部

費目	予算額	決算額	対予算差異	備考
前納分会費（08年度分）	4,070,946	4,070,946 (3,838,446)		
当期入会会費（08年度分）	1,800,000	1,622,750 (1,881,625)	△177,250	
OB会員		1,353,000 (1,726,000)		翌年以降分 2,173,500
学生会員		269,750 (155,625)		〃 1,385,750
サポート費	1,000,000	2,484,270 (1,937,463)	1,484,270	
雑収入		26,181 (23,814)		預金利息
收入計	6,870,946	8,204,147 (7,681,348)	1,333,201	
前年度繰越金	2,520,825	2,520,825 (1,199,718)		
合計	9,391,771	10,724,972 (8,881,066)		

○ 内は2008年度実績

### 貸借対照表

2009年3月31日現在

信 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
新宿北郵便局	8,763,937	引き締金	5,955,748
郵便振替分	530,210	繰越金	4,390,218
三菱東京UFJ銀行新宿支店	1,421,523	預り金 入金済会員	8,295,926
りそな銀行新宿支店	2,466,077		
みずほ銀行新宿西口支店	5,216,390		
現金	243,753		
合 計	18,641,890		18,641,890



# オリエンテーション とは・・・

総合機械工学科の1年生、基幹理工学部1年生（この中に機械科学・航空学科を選択する学生さんが居ます）を対象とした、入学後初めての団体行動です。学生間の交流を深めるとともに、教員から研究室で行っている最新の研究内容を聞き、ディスカッションすることで、意欲を向上させる機会となっていて毎年、大学施設の追分セミナーハウスで行っています。機友会では皆様方の会費から支援しています。今回初めて記事にしました。

## 2009年度 基幹理工学部 1年生オリエンテーション 機械科学・航空学科 本村研 助教 西田進一

基幹理工学部では、基幹理工学部がスタートした初年度より継続して、信濃追分セミナーハウスにて1年生のオリエンテーションを実施している。本年度は、2009年5月15日（金）～16日（土）（A日程、基幹のクラス1～4対象）、5月22日（金）～23日（土）（B日程、クラス5～7対象）の両日程にて開催した。参加人数は、基幹理工学部の入学者数598名の内、573名、また、参加した教員数18名、助手・助教数34名、TA7名であった。

大まかな内容は以下の通りである。金曜日の昼にバスにて大学を出発し、セミナーハウスに到着後、運動場に集合し、クラス対抗の綱引き大会が開催された。優勝チームには豪華賞品として基幹理工学部オリジナルボールペンが贈呈された。夕食、入浴後、3つの会場に分かれて、教員による各学科（計6学科、数学科、応用数理学科、機械科学・航空学科、電子光システム工

学科、情報理工学科、表現工学科）の説明会、1学科15分程度、及び、新入生アドバイザとして職員による実験室等の説明会が開催された。1年生は皆、第2学年への進学時の各学科への進学振り分けの参考にしようと、真剣に聞き入っていた。引き続き、夜10時頃まで、各会場にてお菓子とジュースを配布し、教員や助手、TAも含め、懇親会を開催した。1年生からは各学科について多数の質問が出た。翌日、朝食後午前中、軽井沢の大自然の中で、スポーツ大会が開催された。種目は、サッカー、バスケット、テニス、卓球、ソフトボール、と多岐に渡った。昼食の弁当を食べ、セミナーハウスを出発し、夕方4時頃、新宿駅西口にバスが到着後、解散となった。

参加した1年生の意見としては、友達ができた、各学科の様子が

分かった、先生方と直接会話する機会があり参考になった、スポーツが楽しかった、等、肯定的な意見が多数を占めた。準備した側としても大変嬉しく思う。なお、このオリエンテーションは、統括を各学科の助手の中から選定し持ち回り制としており、機械科学・航空学科、情報理工学科に引き続き、本年度は電子光システム工学科の川合助手が統括を担当した。

A日程、B日程共に、天候に恵まれ、大きな事故、怪我等無く、本年度も無事に開催することができた。この場をお借りして、甲藤先生、総務課高野様、数学科連絡事務室稻葉様、補助金2万5千円をいただいた機友会様、参加していただいた先生方、職員、TAの皆さんに深く感謝いたします。



綱引き大会にて一致団結し勝利を目指す一年生



懇親会にて親睦を深める一年生

## 2009年度総合機械工学科 1年生オリエンテーション報告書 総合機械工学科 2009年度1年生担任 吉田 誠

6月20日（土）21日（日）、昨年に引き続き総合機械工学科1年生オリエンテーションを追分セミナーハウスで実施した。本年度の入学者数144名の内120名が出席した。また教員・助手16名とTA16名が参加した。梅雨ながら、幸い土曜日は晴天に恵まれ、学生諸君はテニス、サッカー、バスケ



ト、ソフトボールを楽しんだ。各種目の優勝グループ

には豪華賞品として指定のレポート用紙等が贈呈された。夕食後、4部屋にわかれ各部屋3～4名の教員が担当してオリエンテーションを行った。各教員30分程度のプレゼンテーションを行い当学科における教育や個々の研究について熱い説明がなされた後、引き続き懇親会にて教員や助手、TAと学生間で10時過ぎまで様々な会話がなされた。その後、グリーンハウスにて教員・助手、TAの懇親会が引き続き行われ、こちらはアルコールが入って深夜におよんだ。翌日曜日は雨天で、軽井沢駅近傍のアウトレットモールにて

昼食、自由時間を過ごした後、新宿駅西口にて16時に解散した。けが人が出なかったことと、後日、一部の学生から楽しかったとの評判が聞かれたのは幸いである。ゼミ配属までは教員と接する時間が限られることから、特に勉学に限らず種々の会話ができるこのイベントは学生にとって貴重かも知れない。身近な世代である助手・TAと知り合いになり、ざっくばらんな話が出来たことも、学生生活に必要な情報を得る上で良い機会となったであろう。来年度は梅雨時期をはずして実施すべき旨、申し送る予定である。また、補助金2万5千円を提供された機友会にお礼申し上げます。

以上

# GCOEグローバルロボットアカデミアの研究活動拠点 ロボットを体感、「RTフロンティア」オープン

2009年5月22日 早稲田大学ニュースより

世界最高水準のロボット研究を誇る早稲田大学が開発した様々なロボットと地域の方々が触れ合うことができる拠点「RT（Robot Technology）フロンティア」が21日、新宿ラムダックスビル（新宿区大久保2-4-12）内に開設されました。

「RTフロンティア」は、「人とRTの共生」を目標の1つとして掲げる文部科学省GCOEプログラム「グローバルロボットアカデミア」の研究活動拠点として、一般の方が実際にロボットを使用できる場所を提供。そこからデータを取得するなどして、人間と生活に密着した自立支援ロボットの研究開発を進める拠点です。

1階の人とロボットのコミュニケーションスクエアでは、自分の身体能力の特徴を理解することで、立ち上がり支援機や高齢者の歩行支援機など自分の身体能力に合った各種ロボットを利用できる場となることを目指しています。當時、目の不自由な人に力を伝えることで道案内をする杖や、歩行による移動範囲を拡大するロボット「Tread-Walk」など先進的なロボットも体験できます。また、9階と12階には早稲田大学の様々なロボット研究室が集合。最先端のロボットの研究や実験が行われます。

オープニングセレモニーでは、拠点リーダーである藤江正克・理工学術院教授が「世界一と自負している早稲田大学のロボットテクノロジーを、世界に発信していきたい。ロボットは人の生活にどのようにフィッティングさせていくかが難しい。そのためには人とロボットが馴染みやすく、付き合いやすくなることが必要です。本屋に立ち寄るように多くの方が気軽に訪れて実際にロボットに触ってもらい、様々な意見をいただきたいと思います」と挨拶しました。

上記のニュースに関連して、以下、簡単に藤江研究室の紹介をします。

## 1 はじめに

藤江研究室は、2001年に機械工学科に所属する研究室として発足し、今年で9年目を迎えます。藤江教授は、1971年に日立製作所機械研究所に入所して以来、一貫して先端ロボティクスの研究開発に従事、特に1990年代以降は医療・福祉に関わるロボット分野の開拓に尽力されてきました。早稲

田大学に籍を移してからも、より精力的に「医療・福祉」をキーワードとした先端ロボット技術の研究開発を行っています。

## 2 藤江研究室の活動方針

2009年8月現在、藤江研究室は学部12名、修士課程20名、博士課程7名、ポスドク3名、秘書2名で活動しています。藤江研究室における研究スタイル

のモットーは、「1人1テーマ」です。藤江教授は長い企業経験から得た「お手伝いだけしかできないエンジニアはもはや不要である」という知見のもと、自主的な創造力を持った次世代の超一流研究者・技術者を育てるべく、指導学生の卒業論文においてはテーマそのものから学生自身に調査・検討・立案させています。ただし、学生たちは個々バラバラに独立して研究を行って



歩行を支援するロボット



情報表示ロボットの前で説明をする藤江教授

いる訳ではなく、関連する研究を行う者同士は自主的に集り、議論や協力を伴う緩い研究グループの様なものを形成して互いに切磋琢磨をしています。雰囲気は非常にリベラルで、先輩が後輩に技術的アドバイスをもらっている光景も見かけます。卒業論文における各人の研究指導は、隔週で開催するミーティングを中心として、高度な工学的観点から熱心に行われます。研究室外部との共同研究が盛んであり、また、年に3回の中間発表会では外部の識者を多数招待し客観的・学際的な評価が得られる機会としています。

### 3 研究内容

2008年4月に早稲田大学と東京女子医科大学の連携施設（通称：TWIns）が完成し、そこでは主に先端医療支援機器に関する研究を行っています。また2009年4月には藤江教授がリーダーを務める文部科学省グローバルCOEプログラムの研究拠点として「RTフロンティア」が完成し、そこでは主に移動支援機器を中心とした研究を行っています。研究の詳しい情報は、HP (<http://www.fujie.mech.waseda.ac.jp/>) で紹介しています。

### 4 おわりに

藤江研究室では、上記の研究活動を通じて、工学としてのロボット技術の向上を図るとともに、医学・生理学・心理学・社会学・倫理学などと高度に融合させることによって、人間の心身に適合する技術、人間の社会に適合する技術の創造を目指しています。また、その創造の担い手となる、若い研究者・技術者の育成に尽力し、来る超高齢社会における人々のQOL向上に貢献していきたいと考えています。

（文責：渡邊峰生 藤江研博士課程在学）

#### 新任教員のご挨拶

## 自然との対話に基づく 領域横断的な研究を目指して

柳尾朋洋



2009年4月より機械科学・航空学科の一員に加えて頂きました柳尾朋洋と申します。着任後数ヶ月が経過し、今は新鮮な感慨とともに、教員としての責任の大きさを改めて実感しております。私は慶應義塾大学、名古屋大学、東京大学で学士、修士、博士（2003年）の学位を取得し、その後、京都大学およびカリフォルニア工科大学で博士研究員として研究に従事して参りました。

真の技術革新や学問的ブレークスルーの実現のためには、一つの分野で得られた知見を、全く別の分野に応用する大胆な冒険心こそが大切ではないかと思います。学問の多様化にともない、今後、分野の垣根を越えた領域横断的な研究はますます重要になるのではないかでしょうか。私は、大学院では原子・分子集合体の集団運動や化学反応の動力学に関する研究をしておりました。しかしその後、分子の振動や回

転、構造変化を理解するための非線形力学や幾何学の方法論は、実はもっと幅広く、機械や生物の姿勢制御や推進、さらには宇宙探査機の軌道設計にも応用可能であることが明らかになりました。原子、分子のミクロな世界と、機械、生命、宇宙といったマクロな世界との間の橋渡しをすることは今後の重要な研究テーマです。

有史以来、人類は、自然を克服し思うがままにつくり変えるための手段として、科学技術を発展させてきたように思えます。結果として、自然の脅威は減り、一部の国々の生活水準は飛躍的に向上しました。しかしその一方で環境問題や資源の枯渇、核問題、生命倫理の問題などの新たな難題に直面するに至りました。このような時代を生きる私たちにとって大切なことは、自然を征服しつくり変えることではなく、むしろ自然と対話をし、自然から謙虚に学ぶことではないかと思います。風

力発電所の巨大風車が海や山や大地に整然と立ち並ぶ姿は壯觀であり私達の心に感動を呼び起しますが、これは、人と自然との対話の姿がそこに垣間見えるからなのかも知れません。私達の未来を明るくする科学技術の種は、私達をここまで育んできた自然そのものの中にたくさん眠っているのだと思います。

私自身、まだまだ経験が浅く、研究の面でも、教育の面でも学ばねばならない事が多々ありますが、未来への大きな可能性を秘めた学生の皆さんと一緒に、一歩ずつ成長していくよう努力して参りたいと存じます。今後とも、ご指導、ご鞭撻の程を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

# 機友会トピックス

## 戸田先生が日本航空宇宙学会の名誉会員に推挙されました

戸田先生は林郁彦研究室に所属し、昭和41年修士、昭和54年博士を取得されました。学生時代から飛び抜けた俊才で、同じ研究室に所属する者として頼もしく、畏敬する先輩でした。若い時代は航空宇宙関連の構造力学部門で大いに活躍され、その後卓抜した管理指導能力のもとで日本の航空宇宙分野を牽引されてきました。今回の栄誉は我々機友会員としても誇らしく、心よりお祝い申し上げます。

43年林研院卒 浅川基男

### 戸田 勘先生 略歴（日本航空宇宙学会誌記事より抜粋）

昭和39年3月 早稲田大学第一理工学部機械工学科卒業  
昭和41年3月 早稲田大学 理工学研究科修士課程修了  
昭和41年4月 科学技術庁航空宇宙技術研究所機体第2部  
研究員  
昭和50年6月 カリフォルニア工科大学大学院航空技術者  
課程修了  
昭和55年2月 工学博士（早稲田大学）  
以下途中省略  
平成11年10月 科学技術庁航空宇宙技術研究所所長  
平成12年4月 日本航空宇宙学会会長  
平成13年4月 独立行政法人航空宇宙技術研究所理事長  
平成15年10月 独立行政法人宇宙航空研究開発機構理事（平成17年9月退任）  
平成18年4月 米国宇宙航空学会（AIAA）フェロー  
平成18年4月 早稲田大学理工学部特任教授



日本航空宇宙学会 会長1期、副会長1期、理事5期、評議員9期、部門委員長2期

## 機械設計コース奥村研究室OBが3人そろって一部上場企業の社長に

新聞によれば、昨年、三井造船社長に昭和46年卒の加藤泰彦氏が就任されました。引き続き、今年になって、東芝社長に昭和47年卒佐々木則夫氏、

東洋製罐社長に、46年卒の金子俊治氏が就任されました。この三氏はそろって、当時の奥村研究室の卒業生であります。きわめて珍しいことと思

われるのでトピックスに取上げました。  
(奥村敦史先生は材料力学がご専門で、1945年嘱任、1988年3月に定年退職されています。)

## サポート費のご協力有難うございました

2009年度上期も多くの方々からサポート費の趣旨を理解され、8月末現在76名及び1グループより総額673,000円の納入をいただきました。誠にありがとうございました。

機友会活動を活性化する上で、特に学生の研究活動やサークル活動にも、またOB、教授、学生を含めたイベントにも支援をして行きたいと考えています。

機友会の会費のみでこのような活動の支援を継続的に続けるには大変苦しい状態です。

昨今の経済状況では大変心苦しいことですが、どうぞ今後とも皆様の多大なるご支援・ご協力を賜りたくお願いする次第であります。（文責 伊藤）

### 2009年度(上期) サポート費納入会員(敬称略)

卒 年	氏 名	備 考
昭和17年	鎌田栄太郎	
昭和20年	宮崎 直道	
〃	大野 正光	
〃	日高冬比古	
昭和21年	松原 雅道	
〃	吉森 信夫	
昭和22年	小野 芳郎	
〃	田村 獻	
昭和24年	滝嶋 政雄	
昭和25年	小沢 秀夫	
昭和26年	渡部 陽	
〃	長谷川政弘	
〃	佐野 武司	マーカー代
昭和27年	望月 恽味	
昭和28年	多治見尚海	
昭和29年	岡田 輝雄	
〃	仁木 基文	
昭和30年	岸 政吉	
〃	若尾 昭	
〃	鈴木 孝	
〃	石川 吉通	
〃	矢杉 正明	マーカー代
〃	佐藤 宣夫	
昭和31年	野中 太郎	
〃	増田 昌士	
〃	高橋 義男	

卒 年	氏 名	備 考
〃	佐野修二郎	
昭和32年	西野入一雄	
〃	井上 謙基	
〃	西村 幹夫	
〃	福田 尚	
〃	帆足 英治	
〃	中山 準	
〃	間野 健三	
〃	石岡 真雄	
〃	坂口 進	マーカー代
〃	伊藤 神八	
〃	江口 昌典	
昭和33年	古田 利克	
〃	五味 義雄	
〃	鷺海陽太郎	
〃	大瀬 昭	
〃	平岡 主行	
〃	有馬 光彦	マーカー代
〃	今村 貞夫	
〃	樺山 亨	
〃	洞上惣エ門	
〃	佐藤 智士	
昭和34年	宮坂 明男	
〃	西村 泰治	
〃	山口富士夫	
〃	莊司 博章	マーカー代

卒 年	氏 名	備 考
昭和35年	野池 敬三	
〃	井澤 貞夫	マーカー代
〃	泉 知明	マーカー代
昭和36年	今井 鉄	
昭和37年	角田 聰	マーカー代
〃	榎本金次郎	マーカー代
〃	謙部 豊	マーカー代
〃	小野 晃一	
昭和38年	大島 義邦	マーカー代
〃	大田 康輔	
昭和40年	鶴野 正英	マーカー代
〃	大沢 茂樹	マーカー代
〃	金城 弘	
昭和41年	真下 芳隆	マーカー代
昭和42年	関口 常久	
〃	楠木 直彦	マーカー代
昭和43年	村井 正義	
昭和44年	武藤 章	
〃	岸 宏昭	
昭和48年	深田 保男	
昭和50年	松井 伸彦	
昭和54年	坪田 章	
昭和59年	高橋 秀知	
その他	佐々木洋子	
〃	昭和32年同期会	

# イベントのお知らせ

## 第29回 早大モビリティシンポジウム 持続可能なモビリティ技術と社会。

環境、燃料、エネルギー、安全に関わる最新の自動車技術の紹介と今後のモビリティのあり方を展望します。(詳しくは機友会HPに掲載します)

日 時 2009年11月21日(土) 10:00~17:30

場 所 57号館202教室

懇親会 シンポジウム終了後、理工学部内で行う。

事前登録 不要 参加費 無料

主 催 早稲田大学理工学術院総合研究所

早大モビリティ研究会 代表: 大聖泰弘

共 催 早稲田大学創造理工学部総合機械工学科

早稲田機友会、次世代自動車リサーチセンター

早稲田大学環境総合研究センター

事務局 萩路、落合、吉田 TEL: 03-5286-3123

Email: mobility@rise-waseda.jp

## 第25回 機友会ゴルフコンペ開催のお知らせ

回を重ねてきました機友会ゴルフコンペも25回となりました。世代交代しつつありますので新しい方々の参加をお待ちしています。同期のお友達を誘って是非参加してください。

日 時 2009年11月11日(水) 8:00 集合

場 所 川崎国際生田緑地ゴルフ場

会 費 プレー費 16,000+食事代+5,000円

会費内訳(懇親会費・賞品代・その他経費)

競 技 新ペリア方式(ハンディ上限なし、隠しホールのトリプルカットなし、年令制限なし)

問合せ先 機友会

e-mail waseda-kiyukai@ktb.biglobe.ne.jp

事務局 佐々木

## パネルディスカッション(就職説明会)のお知らせ

在学生とOBパネラーとの就職への第一歩の大切なイベントです。毎年300名を超える出席者があります。在学生の皆さん是非参加してください。

日 時 2009年11月28日(土) 13:00~16:00

場 所 57号館201教室

開 催 2010年就職担当: 総合機械工学科、機械科学・航空学科の3年クラス担任  
:会長 杉島和三郎  
:副会長 浅川基男教授

共 催 機友会

## 昭和32年卒業生懇親会

同期の皆様にはe-mail・郵便等でお知らせしますが下記のとおり開催しますので奮ってご参加ください。(開催する日時は年2回で4月と10月です。時間は毎回13時から2時間の予定です。)

日 時 2009年10月20日(火) 13:00~

場 所 早稲田大学西早稲田キャンパス

55-2F 竹内ラウンジ

会 費 2000円程度 酒類持込可

幹事有志 江口・井上・網野・岩井明・石岡・石浜・増田・福田・中山・笹本・大石・西野入

# 理工学部100周年記念事業へのご協力御礼

理工学部100周年記念事業へのご協力につきましては、2005年10月より機友会事務局より卒業生の皆様にお願いしてまいりました。先のニュースレターVol.30(2008.10.1発行)でお伝えしているように、記念事業では63号館の建設(終了)と60・61号館地上部除却等キャンパス内の整備が計画されています。前回Vol.30報告以来3月31日現在で17名の方々から1,131,000円のご寄付を賜り、当初より総数62名の方々から総額4,334,000円となりました。報告方々、厚く御礼申し上げます。

(文責 伊藤)

理工100周年記念募金(2008.8.7~2009.3.31)

(敬称略)

卒 年	名 前	卒 年	名 前
昭和24年	佐久間和利	昭和35年	原田 昌三
昭和26年	渡部 陽	昭和41年	岡部 公一
昭和27年	山本 忠次	昭和43年	飯島 衛
昭和30年	鈴木 孝	昭和44年	酒井 達雄
昭和30年	佐藤 宣夫	昭和45年	和田 政信
昭和32年	網野 功	昭和46年	佐藤 博俊
昭和32年	石岡 貞雄	昭和48年	上月 清
昭和33年	鍵山 一郎	昭和61年	新谷 治
昭和34年	松本 耕一		

# 会費納入の注意点

春号（4月1日発行）秋号（10月1日発行）のニュースレターに同封している会費納入のための郵便局の振込用紙はダイレクトメールで発送するため全員に同封されています。また、サポート費の支援をして頂ける方もこの振込用紙をお使いください。なお、下記の2点に注意してください。

- ① 自動振込みの方は破棄してください。
- ② 住所シールに記載されている年度までは会費は納入済です。必要でなければ破棄してください。

以上

## ホームカミングデーのお知らせ

今年度のホームカミングデーは下記のとおりです。

昭和35年・40年・50年・60年の卒業・修了の方々が対象です。  
機友会からもはがきでお知らせしますので是非ご出席ください。

日 時 10月18日（日） 13:00～15:00

機友会集合場所 早稲田キャンパス 7号館-220教室

お待ちしています。



以上

2009

稻門祭

HOME COMING DAY

2009.10.18 SUN



整備された歩道から見た63号館

## 編集後記

8月30日の総選挙の結果、日本の政権は民主党に移りました。米国に統いての政変です。時代の大きなうねりを感じます。社会は技術の進歩によっても変革をしますが、早大理工学部は、創立100年、この間にいくつもの大きな社会の変革を生き抜いてきたのでしょう。機械工学を学ぶ学生諸君も、柔軟にしかも遅く社会を生き抜いてくれることを願っています。

私事ですが、私は今、ランニングに凝っております。たまたま社会は空前のマラソンブームであり、各地の多くのイベントで、参加者が年々増加しているようです。ランニングは大きな設備もいらず、健康によく、走ったあとは爽快と、何かと時勢に合っていると思います。健康で、困難な時代を乗り切りましょう。

(編集担当理事 萩須吉洋 (40年卒))

## 会員訃報

2009年2月以降に、下記の会員の訃報について連絡がありました。  
ここに、謹んでご冥福をお祈りいたします。

卒年	氏名	逝去年月
昭13 旧機械	太田 平一	2003.2
昭14 旧機械	田口 武	2008.12
昭14 旧機械	太田 典雄	2009.7
昭15 旧機械	皆川 重光	2006.3
昭16 専 機	戸井 博光	2008
昭16 専 機	伊藤 哲男	2006.8
昭16 専 機	田中 長平	2007.2
昭17 専 機	葉阪 豊	2009.1
昭18 機 械	安田 實	2008.3
昭20 専 機	石井 嘉衛	2008.6
昭20 専 機	井原 義量	2008.3
昭20 専 機	日高 冬比古	2006.6
昭23 機 械	津波古 充夫	2007.8
昭24 専 連	佐藤 昭次	2008.10
昭25 機 械	斎藤 義久	2009.1
昭25 機 械	今井 光之	2002.

卒年	氏名	逝去年月
昭26 旧機械	細川 恒彦	2008.8
昭32 機 械	皆藤 光一郎	2006.8
昭33 機 械	細谷 誠	2007.6
昭34 機 械	伊藤 文夫	2009.6
昭34 機 械	柴山 哲男	2009.7
昭36 一機械	坂下 元克	2007.6
昭37 機 械	味生 弘	2009.2
昭37 二 機	久谷 彰郎	2009.4
昭37 機 械	柳内 雅雄	2009.6
昭38 一機械	小川 富士夫	2008.11
昭40 一機械	中村 勝次	2008.9
昭42 一機械	大倉 攻	2009.3
昭49 機 械	松田 覚	2009.4
昭51 機 械	鈴木 伸一郎	2009
昭57 機 械	望月 修	2009.1

## 機友会事務局

月、火、木、金 の 10:00～17:00  
伊藤、佐々木、瀬谷

〒169-8555

東京都新宿区大久保3-4-1  
早稲田大学理工学部内55号館S棟2階  
電話 03-3203-4141(大代表)内線73-5252  
TEL/FAX 03-3205-9727  
E-mail waseda-kiyukai@ktb.biglobe.ne.jp  
<http://www.kiyukai.mech.waseda.ac.jp>

**WME ニュースレター 第32号**  
発行元 早稲田機友会編集委員会

印刷 神谷印刷株式会社  
〒171-0033 東京都豊島区高田1-6-24